

2018 年度自賠責運用益使途選定委員会 議事概要

日 時：2017 年 12 月 27 日（水）10 時 00 分～11 時 00 分

場 所：損保会館 404 会議室

議 題：（１）2016 年度自賠責運用益拠出事業の評価・検証について（報告）
（２）2018 年度自賠責運用益拠出事業（案）について（審議）

出 席：洲崎委員長、古笛委員、鈴木委員、辰巳委員、中林委員、矢代委員、山本委員、吉永委員

欠 席：甘利委員

協 会：堀、大知、鈴木、宇田川、川越、金泉、大良

議事に先立ち、協会宇田川部長から、中林委員の就任について報告があり、次いで同委員から挨拶があった。

議 事

司 会：洲崎委員長

（１）2016 年度自賠責運用益拠出事業の評価・検証について（報告）

協会宇田川部長から、2016 年度の拠出事業の評価・検証結果および 2017 年度の拠出事業の上期実施状況について、席上配付資料に基づき報告があった。

（２）2018 年度自賠責運用益拠出事業（案）について（審議）

協会宇田川部長から、2018 年度自賠責運用益拠出事業（案）について、席上配付資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

引き続き、洲崎委員長から、本件は協会堀専務理事を通じて原会長に答申する旨説明があった。主な席上意見は以下のとおり。

- 各事業を個別に見ると悪い事業はないが、総額約 20 億円という限られた拠出額の中では、拠出事業に優先順位をつけて有効に活用してほしい。
- 評価方法を定性評価としたことで、評価がやや分かりにくくなった。事業選定の前提として、評価方法の工夫が今後の課題である。
- 2018 年度事業案では、自動運転に関する研究および医療分野に関する研究にそれぞれ拠出しているが、今後は自動運転と医療分野の横断的な研究にも取り組んでほしい。
- 自動運転については、一般への普及には時間を要するため、まずは交通サービス業者に普及する可能性がある。2018 年度事業案の自動車事故防止対策の一つである「高齢者事故の抜本解決に向けた自動運転コミュニティバスを活用した健康で安全な健康長寿社会システムの提案」のような事業が重要になるのではないかと。

以 上